愛甲石田駅周辺のまちづくりに関するアンケート調査結果

令和6年5月

<調査範囲図>

県道 604 号(旧道

厚木市市街地整備課

愛甲宮前 交差点

<街区図>

愛甲石田

「にぎわい創

街区1

■アンケートの概要

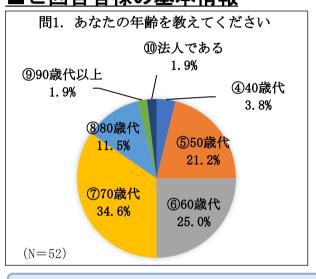
調査対象者…右図の赤線で囲まれた区域内で 土地又は建物を所有されている方

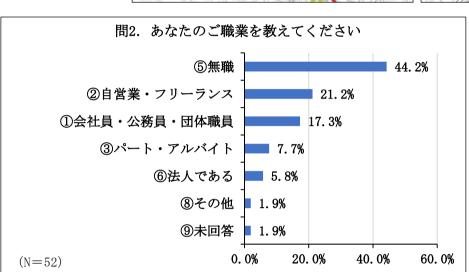
調査期間…令和5年10月18日~11月5日

有効回答率…配布数114通

回収数52通(回収率45.6%)

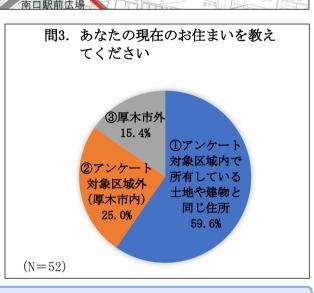
■ご回答者様の基本情報





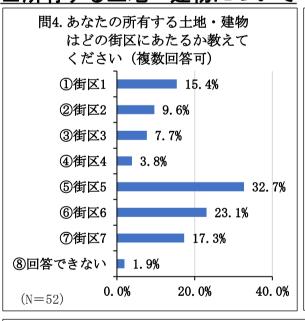
基本構想で、

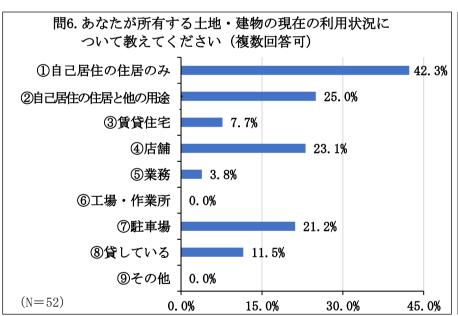
出ゾーン」としている区域

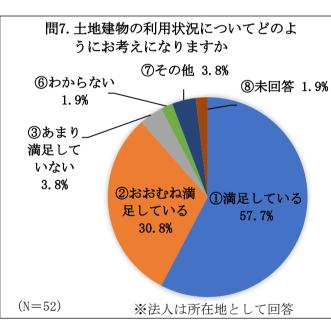


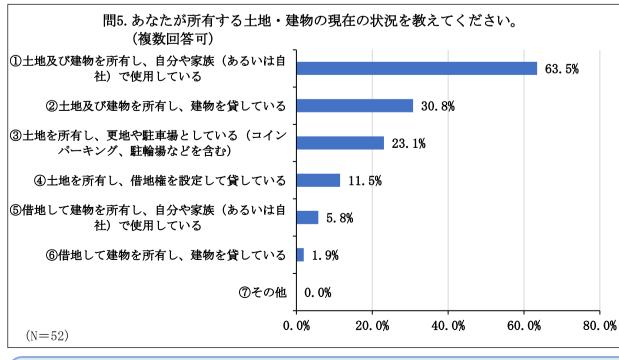
回答者様の年齢は「50歳代」~「70歳代」の方が多く、職業では「無職」(44.2%)が多く回答されました。

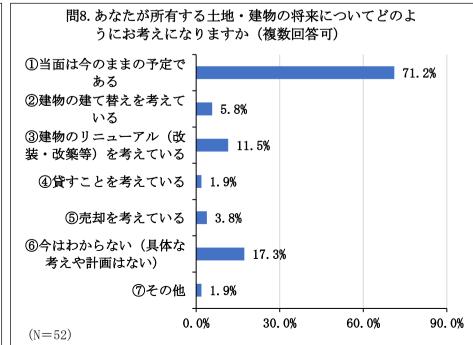
■所有する土地・建物について





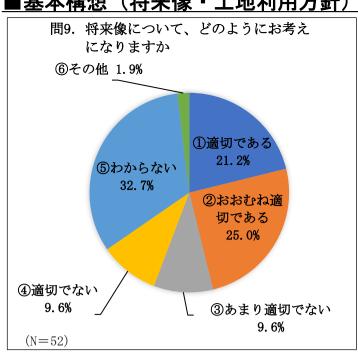


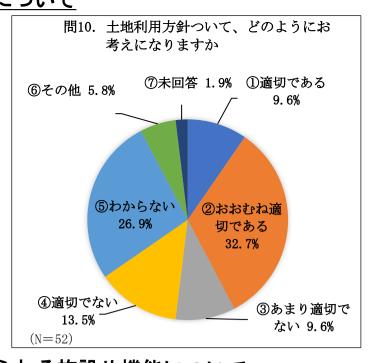




所有する土地建物の利用状況では「住居」(42.3%)が最も多く、「店舗」(23.1%)や「駐車場」(21.2%)としての利用も多くみられ、これらの利用状況に対してはほとんどの方が「満足」又は「おおむね満足」されている結果となりました。所有する土地建物の将来の予定については、多くの方が「当面は今のままの予定である」(71.2%)と回答されました。

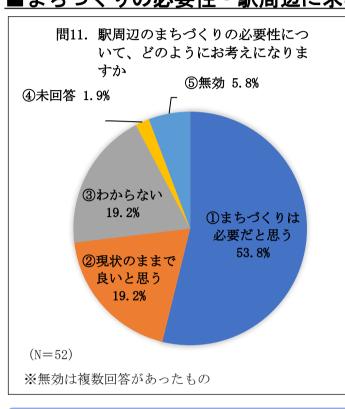
■基本構想 (将来像・土地利用方針) について

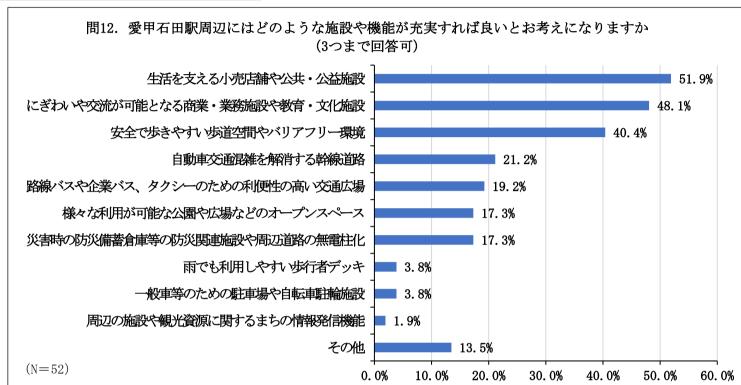




令和4年度に策定した「愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想」における将来像、土地利用方針について、4割以上の方が適切(「適切である」、「おおむね適切である」の合計)と回答されました。

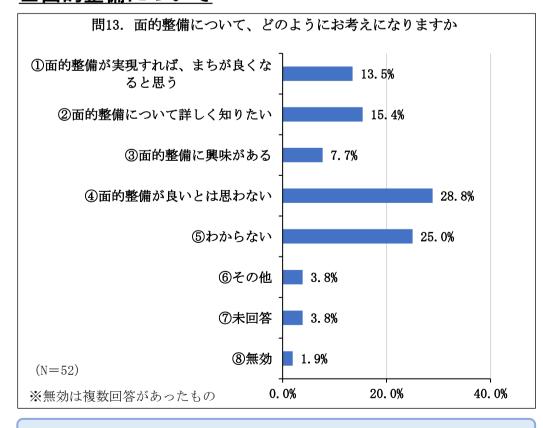
■まちづくりの必要性・駅周辺に求められる施設や機能について





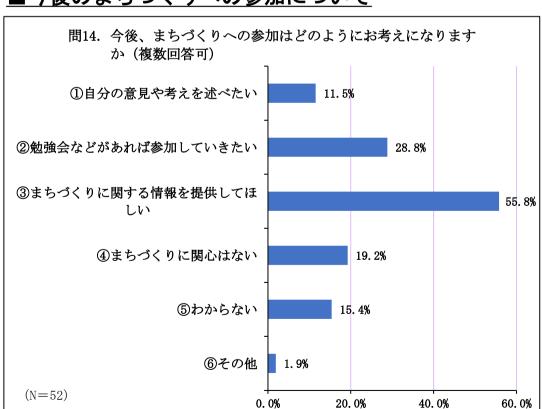
まちづくりの必要性については、半数以上の方が「まちづくりは必要だと思う」(53.8%)と回答されました。駅周辺に充実すれ 良いと思う施設や機能については、「生活を支える小売店舗や公共・公益施設」(51.9%)が最も多い結果となりました。

■面的整備について



面的整備については、1割以上の方が「面的整備が実現すれば、まちが良くなると思う」、2割以上の方が面的整備 に興味がある(②と③の合計)と回答されました。

■今後のまちづくりへの参加について



今後のまちづくりへの参加については、半数以上の方が「まちづくりに関する情報を提供してほしい」、約3割の方が「勉強会などがあれば参加していきたい」と回答されました。

今回のアンケート結果につきましては、今後の愛甲石田駅周辺のまちづくりにおける検討の参考とさせていただきます。引き続き、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。